

はくびつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 7 NO 5 1982. 8. 1

平塚市博物館 TNO 76

教育普及活動の紹介 ⑦

麦から細工

情緒豊かな生活を楽しむ市民の方がたが増えてまいりました。金銭や時間を浪費することなく、自然や心のふれ合いの中に生きて、人間性の回復をはかり、人生を再発見的に生きて行く人びとの光景が広がっています。

博物館では、5月の「草木遊び」に続いて、今回は「麦から細工」の体験学習会を開きました。

7月25日、前場副館長の指導で、45名の方がたが、熱心に、「ほたるかご」を作り、つい先頃まで子供たちの遊びであった創作活動を再現しました。

以下は、当日参加した人たちの感想文です。



◇むぎから細工の募集記事を見まして、昔懐かしく親の私が子供をさそい申し込みました。

子供（3年生の男の子と4年生の娘）があんなに真剣に物事に熱中している姿を久し振りに見る事が出来ました。先生がとても分りやすく教えて下さいましたので、私も思い出して一所懸命造り、また、子供も楽しそうに造って居りました。親子で、楽しく触れ合いの時間が過ごせました事を嬉しく思って居ります。

時節柄、むぎからの材料を集めるのに、係の方が大変御苦労なさったとか聞きました。ほんとうに有難うございました。

（主婦 月本テル子）

◇はじめは、手順がよくわからず、まよって母に手をかりましたが、そのうち2、3回やっていたら、とてもかんたんにつくれました。

家に帰って、近所でいっしょにきていた人に、麦からをもらい、さっそくやってみたら、とてもすてきなかごや鈴を入れたかざりものができました。

こういうのを、もらった麦からで、友達におしえたいと思います。

（港小5年 上田妙子）*2ページへつづく

8月の行事

1	日	夏期特別展・記念講演会「古代の四之宮について」 プラネタリウム
2	月	(休館日)
3	火	自然観察入門講座
4	水	プラネタリウム
5	木	プラネタリウム
6	金	
7	土	古文書講読会 土曜観察会 プラネタリウム
8	日	夏期特別展・記念講演会「平塚市の埋蔵文化財について」 プラネタリウム
9	月	(休館日)
10	火	
11	水	体験学習会「縄文土器を作ろう」(13日まで3日間) プラネタリウム
12	木	デッサン教室 プラネタリウム
13	金	デッサン教室
14	土	プラネタリウム
15	日	プラネタリウム
16	月	(休館日)
17	火	
18	水	プラネタリウム
19	木	プラネタリウム
20	金	星を見る会「夏の星座」
21	土	古文書講読会 プラネタリウム
22	日	プラネタリウム
23	月	(休館日)
24	火	
25	水	プラネタリウム
26	木	プラネタリウム
27	金	夏休み自由研究相談会
28	土	土曜観察会 プラネタリウム
29	日	プラネタリウム
30	月	(休館日)
31	火	(月末休館日)

8.9月の行事
あなたも参加してみませんか

● 星を見る会「夏の星座」

夏の夜空を彩る星と星座を観察します。

日時 8月20日(金) 午後6時~8時

場所 博物館・科学教室

参加は自由ですので、当日科学教室へお集り下さい。

● 自然観察会

やがてダムの底に沈む予定の宮ヶ瀬部落と中津川の自然を訪れます。

日時 9月5日(日) 午前8時~午後5時

(雨天中止)

場所 清川村宮ヶ瀬付近

申し込み 8月20日までに、往復ハガキで博物館までお申し込み下さい。

● 体験学習No.67「竹のおもちゃ」

竹のケンダマや竹トンボをつくります。

日時 9月19日(日)

午前10時~午後3時

場所 博物館・科学教室

対象 小学校5年生以上

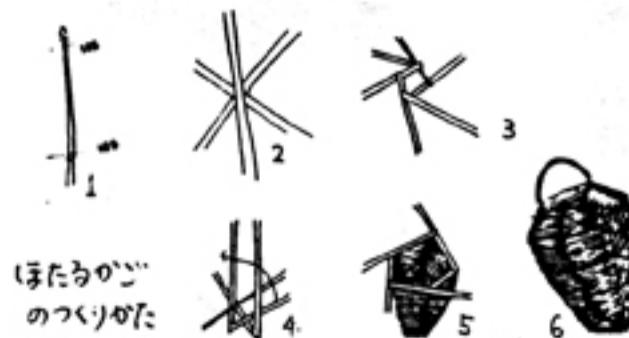
申し込み 往復ハガキで博物館までお申し込み下さい。参加者が多い場合は、抽選で30名まで。

■ 教育普及活動の紹介 ■ (1ページよりつづく)

麦から細工は、ぼくにはむずかしかった。さいしょのあみ方が少しづかしかった。でもできた。

作る人によって、大きさや、形がちがっておもしろかった。おとうさんにやってもらっている子がいた。ぼくのお父さんも、小さい時作って遊んだんだって。また作りたいと思います。

(松が岡小3年 内海大助)





夜明けの湘南平

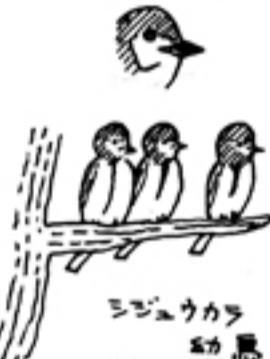
6月13日(日) はれ

朝3時50分起床。コーヒーを一杯飲んで家を出、上万田に自転車をおいて歩き始める。

まだ薄暗い中、「こどもの森」への道を登っていくと、モミの梢でヒーヨヒーヨ、ヒーヒーとけたたましいばかりのヒヨドリの声・・・。鳥たちの朝はもう始っている。左手のコナラの茂みからは、"長兵衛忠兵衛長忠衛"と聞きなされるメジロのさえずりが聞えてきた。

山道をゆっくり歩きながら、道の左右25m以内で見聞きできた鳥を、ノートに記録していく。バードセンサスと呼ばれる、鳥の人口調査である。

6月に入ると、巣立ったばかりの幼鳥に出会うことが多い。湘南平の下のバス道路で、サクラの木を枝うつりしているシジュウカラの家族を見つけた。少なくとも4羽の幼鳥がいて、1羽は親鳥に餌をねだっていた。やがてシジュウカラは15羽のエナガと合流して、斜面の雑木林を谷へ下って行った。



浅間山山頂5時11分。東の空にもやがかかり、赤い太陽がぼんやりかすんでいた。

チーッという声に樹冠を見上げると、ケヤキの細い枝にメジロが2羽とまっている。2羽は体を寄せ合ってとまり、1羽が相手の首すじの羽を、くちばしでつくろってやっている。そんななごやかな情景も一瞬のこと。私に気づいたのか、2羽はキリリリ・・・と警戒音を残して、飛び去っていった。

八岳山、高麗神社、東天照と上り下りをくり返しながら、終点の高根バス停についたのは、6時55分。

この日は、2時間31分の調査で、19種13

2羽の鳥を記録することができた。

7月19日(月) くもり

夜明けの湘南平に、6月13日以来5回目の調査に向かう。

歩き出すとすぐ、遠くからヒグラシの声が聞えてきた。梅雨明けは遅れているものの、夏はすぐそこまで来ているようだ。

5回の調査ではいろいろな発見もあった。6月の22日には、雄のオオルリが巣に餌を運んでいるのを見た。このオオルリ夫婦、5月始めに巣作りしたもの、雛を何物(人?ヘビ?)かにとられてしまい。心配していたのだった。どうやら二度目の繁殖は順調に進んでいるらしい。

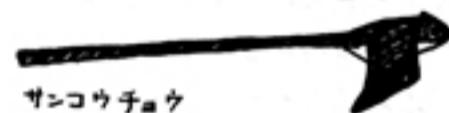
6月29日には、浅間山で一面に散乱した鳥の羽毛を見つけた。大きい羽を拾ってきて調べてみると、イカルの羽であった。イカルをおそったのは、タカのなかまか、それとも? そうした推理をめぐらすのも自然観察の楽しみのひとつである。

5回目の、この日のハイライトは、1羽のサンコウチョウであった。暗い森にすんでいて、めったに姿を現わさないこの鳥が、林から林へ、50mの畠を横切って飛んだのである。ほれぼれするような長い尾、コバルトブルーにふちどられた眼、それは眼鏡も吹っ飛ばす見ものであった。

こうした鳥の人口調査は、全国各地で行われているが、今

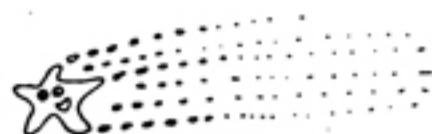
年は特に「どのくらいの面積の緑があれば、何種類くらいの鳥が生活していけるか」というテーマで、まとめられることになっている。

今秋、野鳥の会で出される報告が、楽しみである。



お知らせ 今月号から、「発掘された平塚」に代り、生物担当の浜口学芸員による、「フィールド・ノートより」を連載いたします。

* 天文コーナー *



流れ星を早起きして見よう
夏は流れ星がよく流れる時期です。

流れ星は、流星群（りゅうせいぐん）という群れをなして流れことが多いのですが、夏休みの時期になると、決って2、3の流星群が活動します。

8月初めは、みずがめ座流星群、中旬にはペルセウス座流星群、下旬ははくちょう座流星群といった具合です。

特に、ペルセウス座流星群は、最大級の流星群で、たくさんの流れ星を見ることができます。

ペルセウス座の流星群は、最大が8月12日の朝、つまり11日の夜半過ぎで、1時間に100個以上も流れます。ちょうどお盆のころですから、おぼえやすいと思います。

流れ星は、地球に飛び込んでくるチリが、空気とまさつを起こして光るもので。この流れ星は、夕方よりは、夜明け前にたくさん見られますが、理由は、地球が進む前面にチリが多く飛び込んでくるためです。地球の前面にあたるのが、夜明け前の地域ですから、流れ星をたくさん見るには、夜明け前に起きて空をながめるのが一番、となります。

みんなのサロン

博物館から

毎例の「夏休み自由研究相談会」が7月27日に、博物館の科学教室で開かれました。

これは、考古・歴史・民俗・生物・地質・天文・美術担当の学芸員さんを中心に、小・中学生の夏休み期間中の、自由研究の進め方やまとめ方にについての相談を受けたり、資料についてのアドバイスなどを行うもので、毎年、夏休みの初めと終りに1回ずつ開かれています。今年の相談状況は次のとおりでした。

・相談件数(件)

考古	歴史	民俗	生物	地質	天文	美術	計	相談人数(人)		
								小學生	中學生	計
6	8	3	16	3	6	1	43	14	33	47

小学生の相談内容のまとめをひきいてみると、「土器の種類について」「手取の史跡について」「ニホドリの卵をじょうずにおえすには……」「セミの生態について」「クモの生態について」「地図の調べ方」「宇宙のこと調べてみたいが……」「食物をつかって(素材について)調べてみたい」といったものでした。

中学生の内容は、「市の歴史について」「田舎の歴史について」「地図を書くについて」「市内の神社について調べたいが……」「植物の分布調査について特に帰化植物について」、「河川の水質・汚せん度などを調べる方法について」「ミーラカンスについて調べたいが……」「花粉の採取方法、写真のとり方、大きさのはかり方、分類・保存の仕方……」「川原の石について」「天体写真の写し方」「天体望遠鏡を買おうとしている天文研究は?」「レポートの書き方は?」などでした。

この相談会は、8月の27日にもう一度開かれます。勉強を怠る小・中学生にとって、素晴らしい夏休みであるように期待しています。ぜひ来て下さい!

スケース
N中1年 Sくんと Hくん(八くん) から

今日、7月27日は「自由研究相談会」に参りました。博物館の特別教室に参加したのは初めてです。天文の部門でフラネタリウムの解説のお兄さん?とパンフレットで見た新入りの方にアドバイスを受けました。とてもよく分かったのでとても良かったです。つきい人のHくん(八くん)は新入りのお兄さんの説明はわかりやすいがねむくなると言いました。でも、ペテランのフラネタリウムのお兄さんが「〇〇〇〇光学、〇〇角会、XXX-、△△△△、-----」は「か良くな」からやめたほうかいい」と言ったら新入りのお兄さんが「苦手防寒だ」と言ったのかもしろか、たらしくねむくななくなりましたとおわいでいました。ペテランのお兄さんフラネタリウムの機械のしくみを今度おしえて下さい。

。。

。。

。。

はくぶつかん

VOL. 7 No. 5 通巻76号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 © 3500

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 TEL 33-5111